

平成 23 年度 学校法人八洲学園 第一回役員会 第 5 号議案 について

平成 23 年 5 月 27 日

八洲学園高等学校

評議員・校長 二宮 聡

聴講生の授業料改定を実施したく、当校学則変更につきまして、本役員会にて上程いたします。

八洲学園高等学校 学則（別表 3）入学登録料、授業料、入学金、IDシステム利用料
（2）聴講生 授業料 1 単位につき 15,000 円（注）1 年限りとする（平成 23 年度後期より）

（理由）聴講生により良い学習環境を与え、学習内容の向上と単位修得しやすくするため

聴講生については、学則に記載されている一般生・技能連携生と並んで、当校の教育を受けていただく方として、高認試験合格のための制度として浸透しています。

特に平成 20 年度より関東新宿会場において実施している『高認短期集中クラス』のニーズが、高認試験合の流れとして定着しております。他校との競争も少なく、値上げによる影響は少ないかと思えます。

高認試験は年二回の受験機会となっており、大学・専門学校進学のために受験する方が多く、平成 22 年度は 28,339 人が受験し、その内一部科目合格者は 14,176 名でした。一部科目合格者が、科目免除のため高等学校での単位取得を目指して、当校のようなシステムを利用します。

当校では、秋季 10 月・冬季 2 月の二回、当校の梅田と新宿で『高認短期集中クラス』を開講し、そのニーズにえています。平成 22 年度は新宿で 135 名、梅田で 111 名、合計 246 名が受講しています。

学習の内容も充実し、「短期間で集中的に学習出来良かった」「学習内容が集約され分かり易い内容だった」「教員が非常に優秀で八洲を選んでよかった」などの感想があり、高認短期クラスでは、100%の単位修得率となっております。

現在、1 講座に教員 2 名が担当として教室に入り指導にあたっています。また、一般生のように入学区域が限定されていないため、首都圏、関西圏にそれぞれ地方からの受講も可能です。

上記の内容に関して、審議の程、よろしく願い申し上げます。

（収入について）

・平成 23 年度当初予算 約 800 万円で計上（=120 名×1 万円×平均登録単位 6.7 単位で計算）

・1.5 万円に変更⇒約 1,200 万円収入見込

聴講生は単年度で終了される方ばかりで継続性が無く、学費値上げによるマイナスイメージは少ない。

また、当校のライバル校である高認試験専門の第一高等学院は、科目数に関係なく 1 人 20 万円以上徴収しているため、改定によるライバル校への流れについてもほとんど影響は無いと考えております。

資料(短期集中クラスについて)

秋季(10月中旬～11月初旬)・冬季(2月中旬)の約2週間の日程で行う
今年度関西は梅田、関東は新宿会場・横浜分校(冬季・2科目のみ)で開講。

(参考) スクーリング日程

平成 23 年度秋期高認短期スクーリング開講日程		
10 月	梅田会場	新宿会場
21	金 世界史 A	国語表現 I
22	土 数学 I	生物 I
23	日 数学 I	生物 I
24	月 現代社会	オーラル I
25	火 理科総合 A	オーラル I
26	水 理科総合 A	世界史 A
27	木 日本史 B	現代社会
28	金 日本史 B	×
29	土 オーラル I	数学 I
30	日 オーラル I	数学 I
31	月 生物 I	日本史 B
11 月		
1	火 生物 I	日本史 B
2	水 国語表現 I	理科総合 A
3	木 (文化の日) ×	理科総合 A

数学 I の実施例

時間	1 日目	2 日目
8 : 45～9 : 00	受講者集合 朝礼	受講者集合 朝礼
9 : 00～9 : 50	レポート作成	レポート作成
9 : 55～10 : 45		スクーリング
10 : 50～11 : 40		
11 : 45～12 : 35		
12 : 35～13 : 20	休憩	休憩
13 : 20～14 : 10	レポート作成	試験対策
14 : 15～15 : 05		単位認定試験
15 : 10～16 : 00		可否通達
16 : 05～16 : 55	遅刻者対応	追試対策 + 追試